資本剰余金	
資本準備金	4,000
利益剰余金	
その他利益剰余金	8,520
純資産合計	16,520
負債・純資産合計	49,262

損　益　計　算　書　の　要　旨

（平成28年４月１日から平成29年３月31日まで）

（単位：百万円）

科　　目	金　　額
高速道路事業営業損益	
営業収益	71,052
営業費用	70,901
高速道路事業営業利益	151
関連事業営業損益	
営業収益	3,286
営業費用	3,224
関連事業営業利益	62
全事業営業利益	213
営業外収益	309
営業外費用	6
経常利益	517
税引前当期純利益	517
法人税、住民税及び事業税	193
過年度法人税等	64
法人税等調整額	△1,578
当期純利益	1,836

2　主たる事務所の所在地、ディスクロージャー担当部署及びその電話番号

⑴　主たる事務所の所在地　兵庫県神戸市中央区小野柄通四丁目１番22号

⑵　ディスクロージャー担当部署　総務部総務課

⑶　電話番号　078―291―1000（代表）

3　平成28事業年度の事業報告の概要

当事業年度の高速道路事業については、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構との協定及び平成28事業年度の事業計画に基づき、お客様に安全、安心、快適に利用していただくために、アセットマネジメントの考え方により道路構造物及び施設の計画的かつ効率的な維持・管理に努めた。

当事業年度の本四高速道路の通行台数*は42,233千台と、前事業年度比で0.9％増、料金収入は64,205百万円と、前事業年度比で0.8％増となった。これに、道路資産完成高6,644百万円及びその他の売上高等203百万円を加え、高速道路事業の営業収益は71,052百万円となった。

関連事業については、本四高速道路を利用されるお客様の利便に供するためのサービスエリア・パーキングエリア等の休憩所等事業、受託事業としての鉄道施設管理、長大橋技術を活用した調査・設計等を実施した。

これらの関連事業全体の営業収益は、3,286百万円となった。

当事業年度の高速道路事業営業損益は、料金収入等からなる営業収益が71,052百万円、営業費用は70,901百万円となり、高速道路事業営業利益は151百万円となった。また、関連事業営業損益は、休憩所等事業収入、受託事業収入を合わせた営業収益が3,286百万円、営業費用は3,224百万円となり、関連事業営業利益は62百万円となった。

この結果、両者を合わせた全事業営業利益は213百万円となり、これに、営業外収益309百万円と営業外費用６百万円を加減した経常利益は517百万円となり、法人税等258百万円を差し引き、厚生年金基金の国への代行返上等に係る法人税等調整額1,578百万円を加えた当期純利益は1,836百万円となった。

＊　出口の年累計交通量

4　国からの出資金及び補助金等の額（平成29事業年度予算）

該当無し

5　関係会社一覧

会　　社　　名	資　　本　　金	出資比率
ＪＢハイウェイサービス株式会社	50百万円	100％
株式会社ブリッジ・エンジニアリング	50百万円	100％
ＪＢトールシステム株式会社	30百万円	100％

6　組織の概要

⑴　定数

定款により取締役８名以内、監査役４名以内

⑵　取締役及び監査役の氏名等（平成29年３月31日現在）

地　　位	氏　　名	担　　当
代表取締役社長	三原　修二	会社の経営の総理
取　　締　　役	金崎　智樹	常務執行役員（経営計画室、保全部、安全防災部、長大橋技術センター）
取　　締　　役	酒井　利夫	常務執行役員（企画部、業務部）
取　　締　　役	佐竹　洋一	常務執行役員（総務部、人事部、利用促進・お客様サービス室、監査室）
監査役（常勤）	池田　憲二	
監査役（非常勤）	本多　佑三	
監査役（非常勤）	南部真知子	

⑶　社員数（平成29年３月31日現在）

365人